

科研(B)_近代日本公共施設RC造化シンポジウム



関東大震災前後のRC造建物を考える(その2)

科研(B)_公共施設RC造化研究班は、日本における公共施設のRC造化の過程を解明することを目的として、2021年度より活動を開始しました。活動内容の発信を兼ね、2022年度より毎年シンポジウムをおこなうこととし、2023年度は2022年度に引き続き、関東大震災前後のRC造建物に焦点を当て、報告と意見交換をおこないます。

日時：2024年2月13日(火)15:00～17:30

プログラム

- 15:00 趣旨説明
- 15:05 報告1 安野 彰(日本工業大学)
「東京以外のRC造小学校ほか」
- 15:25 報告2 橋寺知子(関西大学)
「近畿の病院建築事例について」
- 15:45 報告3 永井康雄(山形大学)
「山形市及びその周辺におけるRC造の早期事例」
- 16:05 報告4 西澤泰彦(名古屋大学)
「地域が建てたRC造校舎・講堂の例」
- 16:25 休憩
- 16:35 意見交換
- 17:30 閉会



主催：科研(B)_近代日本公共施設RC造化研究班（代表：西澤泰彦）

開催方法：会場（定員30名 名古屋大学・ES合館4階・講評室）

オンライン（定員50名）いずれも申し込み先着順

申し込み：氏名・所属・参加方法を記したメールを下記に送付してください。

nszw@nuac.nagoya-u.ac.jp

申し込み締切：2024年2月9日（金）